

今月の新着本



西ロライブラリーに新しく入った本を
一部紹介します。

トコトンやさしい組込みシステムの本 坂巻 佳壽美 著/日刊工業新聞社(007-サカマ)	キレイに縫えるソーイングの基本 太田 順子 著/ブティック社(593-オオタ)
いきもので読む、日本の神話 平藤 喜久子 著・ホリ ナルミ 絵/東洋館出版社(164-ヒラフ)	ハンドメイドアクセサリーの本 日本ヴォーグ社(594-ハンド)
ウラジオストクを旅する43の理由 中村 正人 著/朝日新聞出版(292-ナカム)	大切な親に、これなら「決心」させられる!免許返納セラピー 志堂寺 和則 監修/講談社(685-タイセ)
ドキュメントひとりが要介護になるとき。 山口 道宏 編著/現代書館(367-ヤマグ)	基礎からレッスンはじめてのイタリア語 アンドレア フィオレッティ・高田 和広 著/ナツメ社(870-フィオ)
今ひきこもりの君へおくる踏み出す勇氣 吉濱 ツトム 著/ベストセラーズ(367-ヨシハ)	無実の君が裁かれる理由 友井 羊 著/祥伝社(F-トモイ)
数学でわかる宇宙 祖父江 義明 執筆/ニュートンプレス(441-ソフエ)	小鳥たち 山尾 悠子 文・中川 多理 人形 写真/スタジオ・パラボリカ(F-ヤマオ)
がんから始まる生き方 養老 孟司・柏木 博・中川 恵一 著/NHK出版(494-ガンカ)	庶務行員多加賀主水がぶっ飛ばす 江上 剛 著/祥伝社(PF-エガミ)
ふしぎな鉄道路線 竹内 正浩 著/NHK出版(516-タケウ)	ロビン・フッドの愉快的冒険 ハワード パイル 著/光文社(P933-パイル)

浪漫紀行 福島

田村市にあるあぶくま洞は、昭和44年に釜山石灰石場跡地で発見されました。発見当初は全長130m程度の短いものでしたが、その後も調査が続けられ、現在では全長600mにも及びます。一般コースと探検コースの2コースから中を巡ることができ、探検コースではより冒険気分が味わえます。

あぶくま洞内は、鍾乳石の種類と数が豊富で東洋一とも言われるほどです。中でも「月の世界」と呼ばれるスポットでは、特別な照明に照らされながら、主な鍾乳石をすべて見ることができます。また、年間を通じて気温が15度前後と快適な気温です。季節を問わず楽しめるあぶくま洞を、一度訪れてみませんか。

参考文献:『あぶくま洞』高橋 紀信 著/FCT サービス出版部(K454-タカハ)
『福島遺産百選ガイドブック』福島民友新聞社(K291. 2-フクシ)

クイズの答え

正解は ①ひさぎ

「ひさぎ」のほか「しゅう」「きささげ」「ごぼん」という読み方があります。

図書館カレンダー 10月

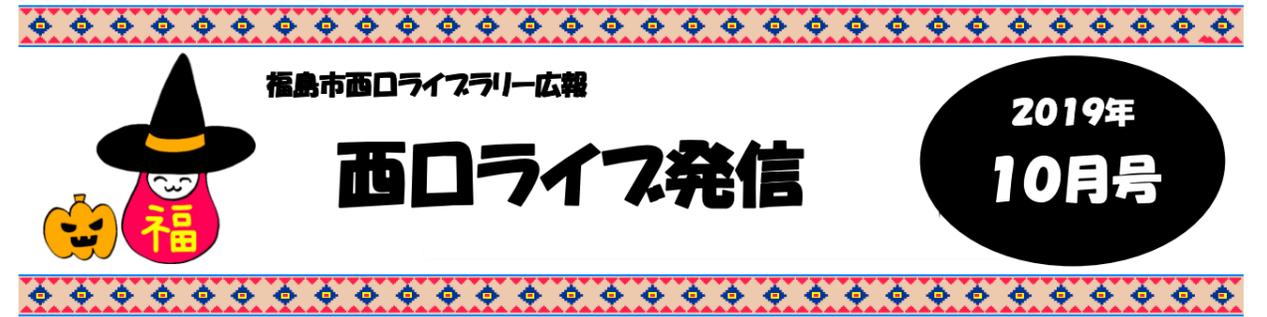
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

印は休館日

2019年10月2日発行

編集: 福島市西ロライブラリー
〒960-8053
福島市三河南町1-20
TEL 024-525-4023
発行: 福島市立図書館
〒960-8018
福島市松木町1-1
TEL 024-531-6551

ホームページ:
<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/tosyo-kanri/kanko/toshokan/>
ふくしまウェブ携帯版アドレス:
<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/mobile>



福島市西ロライブラリー広報

西ロライフ発信

2019年
10月号

今月の新着本案内



『トク盛り「名字」井』

高信 幸男 著
柏書房(288-タカノ)

名字は、約13万種あると言われています。苗字研究家の著者が、名字に関する基礎知識や由来、歴史を紹介。

地域性が垣間見えるものや珍名・難読名字コレクションなども載っており、豆知識が満載です。



『世界のカレー図鑑』

ハウス食品株式会社 監修
マイナビ出版(596-セカイ)

インドで生まれ、世界中で進化を遂げてきたカレー。本書では、カレーの歴史をその発祥から解説します。さらに、国別のカレーの紹介や、スパイスの知識まで盛りだくさんの内容です。どこまでも深いカレーの世界を楽しんでみませんか。



『「蹴る・運ぶ・繋がる」を体系的に学ぶジュニアサッカートレーニング』

池上 正 著/カンゼン(783-イケガ)

サッカーでは状況に応じて、パスやドリブル、シュートするという判断能力が必要です。仲間と協力して、賢く相手と駆け引きしながら、試合を進めるにはどうすればよいのか。難易度ごとに図も交えて練習のポイントを解説します。



『いじめ・虐待・貧困から子どもたちを守るためのQ&A100』

岩田 美香・高良 麻子 編著
生活書院(371-イジメ)

スクールソーシャルワーカーは、困難な状況にある子どもたちと日々向き合っています。学校や家庭など様々な場面で直面する問題に、どう対処すればいいのか。子どもと関わる多くの人の疑問や悩みに答えてくれる1冊です。



『一度死んだ僕、車いすで世界一周』

三代 達也 著/光文社(290-ミヨタ)

筆者は、18歳の時にバイク事故に遭い、両手両足に麻痺が残ってしまう。しかし、困難に直面しながらも、車椅子で介助者なしの世界一周に挑んだ。全力で旅を楽しむ姿は、読む人に一歩踏み出す勇気を与えてくれる。

展示★名作案内

読書



『BOOK BAR』※で紹介されている本の中から選びました。
※杏・大倉 眞一郎 著／新潮社(019-アン)



『中野京子が語る 橋をめぐる物語』
中野 京子 著
河出書房新社(204-ナカノ)
土地と土地を繋げる橋は、私たちの生活に欠かせません。本書では、橋にまつわる話を「奇」「驚」「史」「怖」という項目に分けて紹介。歴史的背景を持つものや奇々怪々な由来があるものなど、様々な話が面白押しです。



『アンティークは語る』
マーク・アラム 著・藤村 奈緒美 訳
エクスナレッジ(756-アラム)
ユニコーンの角やタイタニック号の鍵、精巧な贋作の絵画など…。オークションの競売人として働いた経験をもつ筆者が、貴重な逸品から珍品にまつわる裏話を語ります。アンティークの魅力に溢れた1冊です。



書くひとの館

140号室

遠田 潤子
(とおだ じゅんこ)

1966年大阪府生まれ。大阪府在住。関西大学卒業。
2009年、『月桃夜』で日本ファンタジーノベル大賞を受賞してデビュー。2011年の『アンチェルの蝶』は大藪春彦賞候補になる。

濃密な人間ドラマをベースにしたミステリー作品が多い。



『ドライブインまほろば』
祥伝社(F-トオダ)

ある事故がきっかけで心に傷を負ったまま、寂れたドライブインをひとり営んでいる比奈子。その「ドライブインまほろば」は、かつて祖父母が経営していた店だった。
そんな彼女のもとへ突然、憂と来海という幼い兄妹がやってくる。比奈子は深刻な事情を抱えた様子の憂が気になりつつも、ひと夏彼らの面倒をみることを決めるが…。

～隠し部屋～

普通のOLを経て38歳のときに作家になることを決めたが、昔はむしろ漫画家になりたいと思っていた。友人にも近所の人にも作家だとは言っておらず、何をしているのか謎とされているそう。

～その他の作品～

『鳴いて血を吐く』 2012年
『雪の鉄樹』 2014年
『冬雷』 2017年

ほか

クイズ解かっせ

木偏に春と書いて椿(つばき)、夏と書いて榎(えのき)、冬と書いて(ひいらぎ)では、木偏に秋と書く楸は何と読むでしょうか？

- ① ひさぎ
- ② からまつ
- ③ くこ
- ④ こなら
- ⑤ そてつ
- ⑥ むくのき



NO
IMAGE

『命の意味命のしるし』

上橋 菜穂子・齊藤 慶輔 著／講談社(Y910-ウエハ)

『獣の奏者』や『鹿の王』などの作者・上橋菜穂子さんと、野生の猛禽類を扱う獣医師・齊藤慶輔さんとの対談。命とは何か、命あるものが生きて死んでいくとはどういうことなのかを各々の視点から、私たちに呈示します。

『あなたの人生の物語』

テッド・チャン 著・浅倉 久志 [ほか] 訳
早川書房(P933-チャン)

言語学者であるルイーズは、エイリアンとコミュニケーションをとるために彼らの言語を学ぶ。地球の言語とは全く異なる彼らの言葉は、彼女の未来に大きな影響を与えることになる。(「あなたの人生の物語」)

読者の想像力を刺激するSF短編集。



『死してなお踊れ』

栗原 康 著／河出書房新社
(188-イツペ)

時宗の開祖・一遍は、武家に生まれながら家族や財産全てを捨てて旅に出た。そして、ひたすらに踊ることで極楽浄土を目指す踊り念仏を始め。やがて彼に魅せられた人々が集まり…。

激動の人生を追いながら、一遍上人の実像をひもとく。